

丸之内通信

水力協會誕生

電力管理法の實施を控へて官民協力相率ゐて之が國策に順應すべく早くも官民技術者間には各種の計畫が練られるに至つたが今回同法立案の目的の一たる「水力の合理的開發」に遺憾なからしめる爲め發電、土木關係の技術者の大同連繫が企てられ左記諸氏が發起として近く「水力協會」の設立が具體化される運びとなつた。

右協會の趣意とする處は

「水力の合理的開發を遺憾なからしむるは正に吾ら土木技術者に課せられたる責任なりとす、この重任を果し以て利水の完璧を期するは一に人の和に俟たざるべからず、和を得るの道は他なし、能く自我を没却し小異を捨て、大同に就くにあるのみ茲に水力協會を設立し能く官民和協の實を舉げ以て國策に順應せんとす」

と謂ふにあるが、各方面に互る發電、土木の權威を集めてゐるだけに今後の成果を注目せられてゐる發起人は下記百九名の諸氏である。

(◎印は實行委員)

△阿部謙次◎阿部仁一郎△赤松三郎△秋田重季△淺見東三◎新井榮吉△安藤新六△伊川重良△伊藤信△伊藤二郎△伊藤根次郎△井上秀二△池邊稻生△生駒勇△石井穎一郎△石井林次郎△石川榮次郎◎内海清温◎内村三郎△海老季美△大石勇△大島滿一△大西英次△大野金吾△岡崎三吉◎加藤貢△鎌形勝彌△神原信一郎△菊池英彦△空閑徳平△久保田豊△熊川信之△巖重哲三△金野賢彌△後藤茂△後藤重介△佐藤長太郎△齋藤孝二郎△埴田賢吉△膨城嘉津馬△櫻山壯次△品川善次郎△清水幸一

郎△下浦眞清△須山英五郎△杉村誠之助△杉村博通◎杉本好太郎△杉山榮△鈴木鹿象◎鈴木長治△瀬戸角馬△田川正二郎△田中敬親◎高橋嘉一郎◎高橋三郎△高橋清藏△高田昭△知久清之助△遅塚安三△鶴田勝三△中井龜太郎◎中島多利壽△中村光四郎△永井專三◎野口寅之助◎野口誠△馬場宗光◎萩原俊一△幡鎌俊次△畠山好伸△濱田東稻△林愛士△林將治△原田信作△八田嘉明△平井彌之助△藤井雄之助△前川貫一△米屋秀三◎増谷悠△松岡又二△松浦圓四郎△松屋寛一◎松田全弘△松谷正◎松野辰治△松本龜司△三野熊雄△水谷佐七◎水谷清◎溝口潔夫△名井九介△宮川正雄△宮越義重△村瀬花之亮△目黒雄平△望月專一△森忠藏◎山岡包郎◎山倉嘉一郎△山田勝則△山田胖△山本格△横山勝治郎△吉田誠之△吉村惠吉△渡邊甲△渡邊義道

逓信省電力關係人事異動

電力管理準備局の開設とともに逓信省電氣局は全體的に人事大異動を見たが課長及係長、係員(括弧内)は次の通りに決定した、なほ相當充員の見込である。

電 氣 局

△技術課長森技師電氣係下垣内技師(長島技師、關口技師上田技師、鈴木技師、山本技師)計畫係上島技師(小原技師、中岡技師、市川技師)検査係青木技師(木内技師、増井技師、吉田技師)調査係(三ツ井技師、菅谷技師、吉尾技師、内澤技師)△水力課長高橋技師水力係中島技師(吉田技師)原動力係吉田技師(畠山技師、谷本技師)△火力課長後藤技師火力係伊藤技師(森技師)機械係太田技師(飯塚技師、村田技師)△水力調査課長伊藤技師企画係岡崎技師(横澤技師、細田技師、志賀技師、瀬古技師)監査係米屋技師(青木技師、吹野屬、原技師、志村技師、山本屬)

準 備 局

第一電氣課長森技師第一計畫係深尾技師(吉岡技師、中神技師、大來技師)等二計畫係荒川技師(伊丹技師、林技師)受給係弘山技師(岡安技師、渡邊技師)△第二電氣課長加藤技師設備係異技師(本松技師、佐伯技師、武石技師、鹽崎技師、小島技師)第一工事係未定(加藤(四郎)技師、岡村技師)第二工事係龜井技師(森(義)技師、小山技師)△

機械課長後藤技師第一機械係太田技師（近藤技師相部技手、三田村技手、赤羽技手）第二機械係未定（石井技師、中島技手）第三機械係同（野村技手）△土木課長高橋技師開發係野口技師（篠原技手、竹下技手）第一工事係未定（石川技手）第二工事係山岡技師（福井技手）

東邦天龍川13萬瓦計畫

東邦電力株式会社では既報の如く豫て静岡県下天龍川水系に於ける既許可佐久間發電地點の開発を計畫しその實測設計を進めてみたが愈々今回その設計を完了、舊設計の水路式開発を全く變更して之を二ヶ地點とし何れも堰堤式によることとし左の二發電所建設を行ふこととなつた。

◇山室發電所＝使用水量220立方、有効落差33米、出力60,375KW

◇中部發電所＝使用水量220立方、有効落差42.77米、出力78,061KW

右合計138,436キロワットで、同社としては天龍川筋に於ては水力發電の初工事であるが、既に同水系の開発に當つてゐる矢作水力とは折衝済みで大體山室發電所を來る16年末、中部發電所を17年末に竣工する豫定で近く逓信省あて右工事施行認可の正式申請手つゞきをする事になつた。

駒澤主競技場愈軌道に乗る

駒澤オリンピック主競技場の決定に伴ひ東京市オリンピック委員会は既報の如く建設費1,228萬圓（内500萬圓は東京市起債、420萬圓は政府補助、他は入場料寄附等に依る）を満場一致可決したが、右案を最後の決定に導く豫算市會は昨二十日午後四時より東京市市會議事堂に於いて開會され鋭意審議の結果遂に之を正式可決し、茲に駒澤オリンピック主競技場建設は市負擔を以て本格的な軌道に乗つた、市負擔並に工事内容は次の如くであるが、市では右工事を一部直營工事で施工する外大部分を請負工事として（鐵鋼11,000噸は市支給）9月より一流業者の指名入札に附す豫定である。

主競技場 ゴルフ場の北東隅窪地17,500坪に建設し南北に長楕圓形のスタジアムを構築する、收容人員12萬人、この鐵筋コンクリートスタンドは6萬人收容の永久的なものであり、他の部分は木造の假スタンドとする（5,940,000圓）

水泳場 ゴルフ場東南隅クラブハウス附近3,485の地に建設する、收容人員28,000人、鐵筋コンクリート造（1,423,000圓）

オリンピック村 ゴルフ場西隅約5萬坪の草林地帯に延坪57,40坪の宿舍を建設する、木造平屋建て閑靜なることを考慮に入れ建設する（1,282,000圓）

自轉車競技場 芝浦理者九號地に建設し1周500米、幅員9米の競争路を構築する、鐵骨コンクリート造で主觀覽席の下部には諸附屬室を造る、收容人員12,000人、夜間照明の装置も設置する（500,000圓）

造園費 競技場内外を美化するため主として植樹を施工する（970,000圓）

體育館 お茶の水に建設し鐵骨鐵筋コンクリート延坪7,000坪のもので室内プール、籠球場テニス場、武道場等あらゆる設備を施行する（2,150,000圓）

（309頁より）

第十七條 鐵鋼統制部には左の帳簿を備付け各擔當係に於て記入するものとす

（一）文書の收受發送件名簿（二）請求書受理簿（三）請求及證明簿（人別、府縣別）（四）一越未滿購求及證明簿（五）指定用途別數量差引簿（六）證明書交付簿（七）手数料納入簿（八）金錢出納簿（九）同元簿（十）物品受拂簿（十一）支部會員一覽名簿（十二）其他必要な帳簿

第十八條 本會支部に於て鐵鋼使用證明書交付規程第二條第二項の請求書を受理したるときは使用目的其他の調査を爲し「右請求書に相違なきことを承認す」と奥書し支部長の捺印をなし請求者に交付するものとす
前項支部長印は本會にて作成配布したるものを押捺するものとす

第十九條 鐵鋼使用證明書交付規程第三條第五號の場合に於て請求者より支部長に對し證明書の交付を要求せられたるときは請求書記載事項中工事實施に關する項目を調査したる上左記様式の證明書を交付するものとす（様式省略）前項の場合に於ける支部長印は前條第二項による印鑑を押捺するものとす

附 記

本細則に明示なき事項又は疑義を生じたる場合は鐵鋼使用統制委員會の協議により會長之を定む